

令和5年 8月29日

各中学校長 様
各クラブ代表者 様

青森県バドミントン協会
会長 花田 康夫



第52回青森県中学校秋季バドミントン大会の開催について

本大会を、下記要項により開催することになりましたので、ご参加下さるようご案内申し上げます。

記

1. 主催 青森県バドミントン協会
2. 共催 青森県中学校体育連盟
3. 主管 青森県中学校体育連盟バドミントン専門部
4. 会期 令和5年11月 3日(金) 会場設営 8:00 (上北地区の選手中心に) 開場 8:30
監督会議 8:50 開会式 9:10 (放送で) 競技開始 9:30
令和5年11月 4日(土) 開場 8:00 競技開始 8:30
5. 会場 十和田市総合体育センター
〒034-0083 十和田市西三番町6の6 TEL0176-25-5555
6. 種目 ①団体：男子・女子（東青・中南6校、各地区3校）
②シングルス：男子・女子（東青・中南20名、各地区8名）
③ダブルス：男子・女子（東青・中南20組、各地区8組）
④1年シングルス：男子・女子（東青・中南16名、各地区8名）
※ 協会推薦選手（地区大会とJOCが重なった選手）は出場できる。
7. 参加資格 令和5年度(公財)日本バドミントン協会会員であること。
<団体戦>
①各地区中体連秋季大会を通過したチーム。
②団体戦でベンチ入りできるのは、監督(出場校の校長・教職員・部活動指導員)1名、マネージャーもしくはコーチ1名、選手5~7名とする。コーチは当該校の校長が認めた者とする。
③マネージャーは選手として試合に出場できない。
<個人戦>
①各地区中体連秋季大会を通過した選手。
②同一選手が単と複を兼ねて出場できない。
③2年生は1年生シングルスに出場できないが、1年生はシングルス・ダブルス・1年シングルのいずれか1種目に出場できる。
④個人戦でベンチ入りできるのは、監督1名の他に、マネージャー(教職員)・コーチ・アドバイザーのうち1名とする。(男子部、女子部ごと)アドバイザーは当該校の校長が認めた者とする。
監督は当該校の教職員・部活動指導員とする。地域クラブについては責任ある代表者または指導者とする。
8. 競技規則 大会要項及び、令和5年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程に準じて実施する。
9. 競技方法 ①団体戦・個人戦ともにトーナメント方式で行い、3位決定戦を行う。
②団体戦は2複1単とし、複・単・複の順で対戦する。なお、同一選手が単と複、及び複と複を兼ねて出場することはできない。**団体戦の1回戦にかぎり、勝敗がついても第2ダブルスの1セット目までは行う。**

10. シャトル 令和5年度(公財)日本バドミントン協会第1種もしくは第2種検定に合格した水鳥シャトル(4番)を使用する。(ヨネックス、ゴーセン、ミズノ)
11. 抽選方法 ①団体戦の組み合わせは今年度県中学校体育大会夏季大会のベスト4の地区をシードする。
②個人戦の組み合わせは青森県中体連バドミントン専門部で決定する。
(これまでの戦績や強化練習会の結果から組み合わせする)
12. 表彰 ①団体戦の3位までに賞状を授与し、個人賞状も授与する。
②個人戦のベスト8までに賞状を授与する。
13. 参加料 団体1チーム 7,000円 個人1人1種目 1,000円
14. 参加申込 ①メールで送付した申込書のデータを入力し、下記メールアドレスへ添付ファイルで送付する。
※ メールでデータを送付し、FAXでも申込用紙を送る。事情により出場を辞退する場合は、各地区競技委員長に報告する。
②各地区競技委員長は、男女団体の1位～3(8)位まで、男女シングルス・男女ダブルス・1年男女シングルの1位～8(24)位までをまとめて下記に送付する。
個人戦は、1位に負けた選手を5位、2位に負けた選手を6位、3位に負けた選手を7位、4位に負けた選手を8位とする。ただし、5～24位決定戦を行った場合はその順位に従う。
出場辞退がある場合は、当該校チーム・選手の代わりに、下位のチーム・選手から当該地区で協議して繰り上げて選出する。
- | |
|---|
| 〒036-8085 弘前市末広3-2-1 弘前市立東中学校 太田英也 宛
TEL 0172-26-0575 FAX 0172-26-0559
青森県中体連バドミントン専門部ホームページ
http://ajpelbad.html.xdomain.jp/ E-mail guin06@hotmail.co.jp |
|---|
- 申込締切日：令和5年 9月22日(金)(FAXとメール、必着、厳守)
15. その他 ①引率者・監督は出場校の校長・教職員・部活動指導員とする。(ただし、部活動がなく、個人的に参加する場合は、学校の判断に任せる。)登録しているクラブは個人戦の監督を出すことができる。
②選手変更等について
<団体戦>・監督、マネージャーもしくはコーチ、選手の変更は監督会議時に受け付ける。(以降の変更は認めない。)
<個人戦>・監督、アドバイザーの変更は監督会議時に受け付ける。(以降の変更は認めない。)
・シングルの選手変更は原則として認めない。
・ダブルスに参加している選手の一人が病気等の事情により参加できない場合は、監督会議の承認を得て、当該校から個人戦に登録されていない選手を補充できる。ただし、すでに個人戦に登録されている選手同士での変更はできない。
- ③敗者審判制をとるので、審判ができるようにしてくる。
- ④検定ウェアを着用する。上衣背面には学校名(クラブ名)及び姓を表示する。
- | |
|-----------------|
| 弘前東 JBC
太田 理 |
|-----------------|
- (大きさは、縦 20cm・横 30cmの範囲内とする) 文字列の大きさは、上衣背面(高さ 6cm～10cm)とする。同性の選手がいる場合は名前の一文字目を小さく入れる。(別紙参照)
(背面のチーム名の文字数は字が小さくなりすぎるため、最大8文字程度とする。プログラム掲載チーム名も同様とする。)
- ⑤申込書に記載する選手氏名・学校名・学年等の情報は大会プログラムに掲載し、公表するとともに、大会結果集約に利用する。成績上位者については報道発表並びにホームページに掲載する。事情がある場合は、参加申込時に連絡をする。
- ⑥本大会の団体戦のベスト4に入賞した学校に、来年度の青森中学校春季バドミントン選手権大会のシード権を与える。
- ⑦本大会の個人戦のベスト4に入賞した学校に、青森県中学校冬季バドミントン選手権大会のシード権を与える。

	東青	中南	上北	三八	西北	下北
団体	6	6	3	3	3	3
シングルス	20	20	8	8	8	8
ダブルス	20	20	8	8	8	8
1年シングルス	16	16	8	8	8	8